



三重テラスで「四日市STYLE～“BANKO 300th”萬古焼の魅力～」を開催



三重テラスにて

萬古陶磁器振興協同組合連合会(藤井健司理事長)は、2月2日(金)・3日(土)、三重テラス(東京都中央区日本橋)で「四日市STYLE～“BANKO 300th”萬古焼の魅力～」を開催しました。

これは、平成30年に萬古焼創始者である沼波弄山翁の生誕300年を迎えることを契機に催す“BANKO 300th”事業を広く知っていただき、萬古焼に実際に触れて体験してもらおうと企画したもので、萬古焼絵付け体験講座や土鍋を使った料理の試食体験の他、陶芸家 内田鋼一さんとエッセイスト 平松洋子さんによる対談等もあり、多くの参加者で賑わいました。

後日、藤井理事長に萬古焼について何うと、「思いは1つ。300年続いた萬古焼という産業を残し、発展させていくためにどうしていけば良いかを常に考えています。」と話されました。

小規模事業者組織化指導事業・取引力強化推進事業は、中小企業・小規模事業者が連携して、共同事業の活性化や受注拡大等取引力強化促進を図るための取組みに対して助成しています。平成28年度実施事例からご紹介します。

取引力強化推進事業を活用して『ホームページ上での動画サイト作成』

事業概要 ホームページ上での動画サイトとして組合員のPR動画を作成した。

成果 組合員においては、動画によるPRを組合のホームページ上にて実施することにより、見る側も1度で尾鷲地域の複数の宿泊先や地域の物産店側の生の声が閲覧できることになり、組合員それぞれの強力な宣伝広告を行うことができた。

組合においては、組合員から来客数の増加、宣伝活動がやりやすくなった等の好評、「組合員としての意識が高まった」という意見を得ている。

なお、今回の事業により、今後も尾鷲市での当組合の魅力を効果的に伝えていく手段に活用できることから、組合の存在感が増して、組合への新規加入者増加について期待することができる。

今後の取組みの方向 本事業を実施したことにより、組合員の宣伝活動に貢献することができたため、今後もPR動画を活用して組合員の情報や、尾鷲の魅力を発信していく。また、本事業の実績により、協同組合としての存在感を高めることができたので、今後も組合をアピールしていくことで、組合への新規加入者増加を図り、組合事業の更なる活性化に努める。



ホームページ <http://owasekankou.com/>